

建設技術展示館 紹介資料

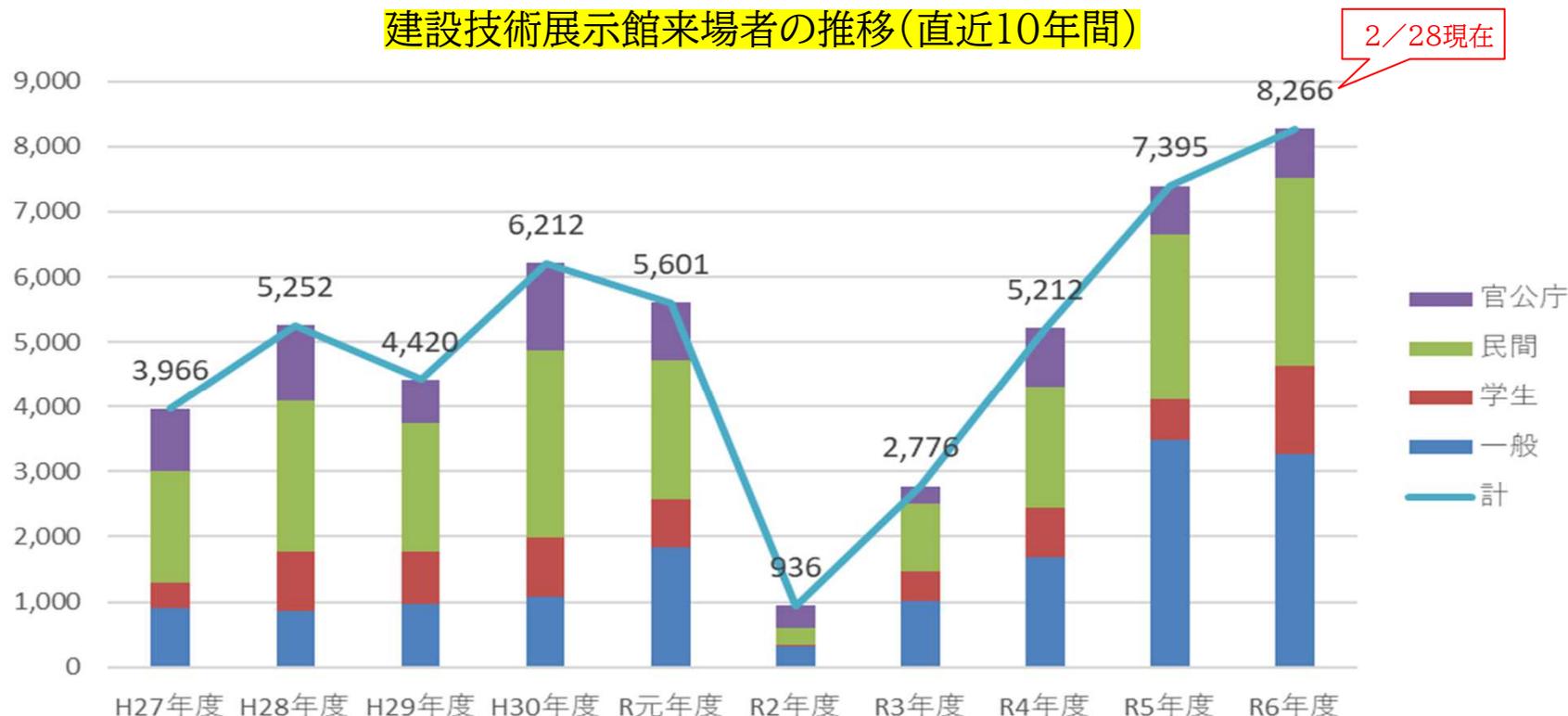
1. 建設技術展示館の概要(H11～)

国民の暮らしを支える建設技術を幅広く情報発信するとともに、次世代を担う若い方にも建設技術への関心や理解を深めていただくことを目的に、平成11年度より関東技術事務所構内に開設した常設展示場である。

新しい建設技術や関東地方整備局等の取組をパネルや映像、模型等で分かりやすく展示し、技術者はもとより、学生から一般の方まで幅広い層の方々に、「見て」「触れて」「体験して学べる(知る)」体験型施設として、これまでに約29万人の方々に来館頂いている(令和7年2月末現在)

開設以降、国土交通行政を取り巻く環境の変化や建設技術の進歩等、時代の変化に応じて展示内容の検討や見直しを重ねて、現在は「第16期 建設技術展示館」の展示を実施している(R5.5.31～R7.11.30)

建設技術展示館来場者の推移(直近10年間)



2. 第16期の概要と取組

1) 技術展示

第5期国土交通省技術基本計画(2022-2026)を参考に3つのテーマで技術公募し、学識者による審査を経て選定した技術のほか、関係機関・地方公共団体・大学等の取組や研究も展示している(展示者総数82者)

防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術 (43ブース) ■防災・減災対策技術 ■被災後の応復旧技術 ■補修・メンテナンスの新技术 ■点検・診断やモニタリングの技術 など
インフラ分野のDX技術 (29ブース) ■i-Construction技術 (IoTを活用した技術、ドローンや衛星などの三次元測量データを活用した技術、ICT施工技術、BIM/CIMなど三次元設計技術、AR/VR/MRなどを活用した技術) ■無人化・省力化・ロボット技術 ■ビッグデータ等を活用したAIによる技術 など
インフラ分野の脱炭素化・GX技術 (5ブース) ■建設機械等の二酸化炭素排出量の削減技術 ■再生可能エネルギーの効果的な活用技術 ■都市緑化に関する技術 など
関係機関・地方公共団体・大学等の取組みや研究 (9ブース) ■国土地理院、国土技術総合研究所、(国研)土木研究所、関東地方整備局 ■千葉県、松戸市 ■東京大学、早稲田大学、日本大学

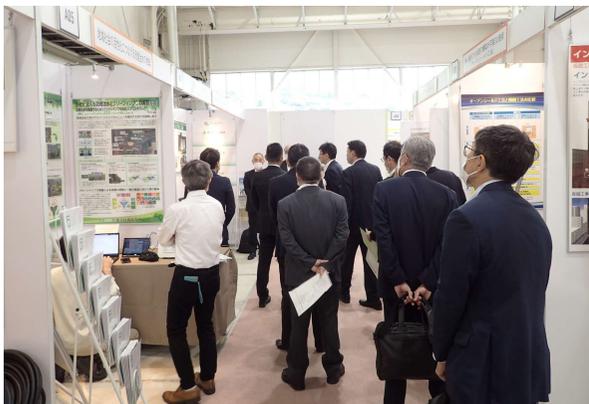
第16期 展示テーマと内容



建設技術展示館フロアマップ



建設技術展示館内状況



展示ブースの見学状況



ブース担当者による技術説明状況①



ブース担当者による技術説明状況②

2)DX体験を通じた広報活動(DXパーク)

誰でも楽しくDX技術が学べる体験型コンテンツを用意し、幅広い層の方々に体験頂いている。



DXパーク(建設技術展示館内)



レーザースキャナによる測量体験



3次元測量結果(点群データ)の説明



トータルステーションによる測量体験



3次元データ操作体験



河川管理施設のVR体験

建設技術展示館の概要と第16期の活動内容

・来館者の方々(代表事例)



民間(建設業 社員研修)



官公庁(職員研修)



一般(民生委員)



一般(御家族)



学生(小学生)



学生(中学生 修学旅行)



学生(高校生 課外授業)



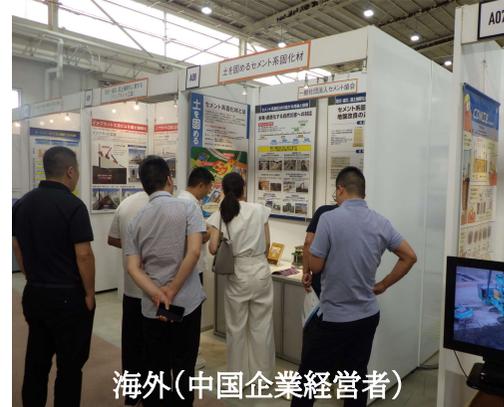
学生(大学生 課外授業)



海外(JICA視察)



海外(中国の大学生)



海外(中国企業経営者)



海外(日本企業の外国籍スタッフ)

3) 出展技術発表会(年6回)

建設技術の活用・普及促進を目的として、建設技術展示館に出展している技術を行政・民間の技術者に向けて出展者が紹介するほか、講演として、関東地方整備局や関係機関の取組、大学連携の研究報告等を実施している。本発表会は、CPD/CPDS継続教育プログラムに認定されている(年間参加者数:約2,000名)

開催チラシ



講演(第5回開催)



講演(第11回開催)



建設技術展示館 DXパーク



さいたま新都心合同庁舎1号館講堂

4) 広報活動

WebやSNS等への投稿をはじめ、地元広報誌や業界紙等への寄稿による建設技術展示館の紹介を行っている。



建設技術展示館 夏休み子供体験教室

「土木」や「建設技術」に関する体験教室を開催します。

日7/26(金)10時～15時 会館(五香西6の12の1) 内 災害対策車両や建設機械の操作体験、VRなどのDX体験、建設技術・災害体験など ※詳細は同館ホームページで 国土交通省関東技術事務所 contact@kense-te.jp

災害対策車両

広報「まつど」

Xへの投稿



千葉県お出かけ情報サイト「ぐるっと千葉」

お出かけ情報サイト「いこーよ」

・業界紙への投稿事例

ニュース&トピックス

建設技術展示館 第16期リニューアルオープン

角田 哲章 かくたのりあき 国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所 技術情報管理室

1. はじめに

国土交通省関東地方整備局では、国民の暮らしを支えている建設技術を関係者に幅広く情報発信するとともに、一般の方々や次世代を担う方にも建設技術への関心と理解を深めたいと考えて、平成11年11月に関東技術事務所の隣内(千葉県船橋市)に常設の『建設技術展示館』を開館しています。(写真-1、図-1)



写真-1 建設技術展示館



図-1 アクセスマップ

建設技術展示館では、新しい建設技術や取組をパネルや映像、模型等で分かりやすく展示し、技術者のもとより、学生から一般の方まで幅広い層の方々

に、「見て」、「触れて」、「体験して学ぶ(知る)」場として活用されており、これまでに27万人以上の方々にご来館されました。このため、令和5年5月31日に展示技術テーマを新たに、第16期目のリニューアルオープンをしました。リニューアルの概要及び今後の建設技術展示館の主な活動について紹介いたします。

2. 第16期リニューアルオープン

2.1 式典及び特別講演(令和5年5月31日)

第16期建設技術展示館のリニューアルオープンにあたり、式典及び特別講演を開催しました。当日は約300名の方々にご来館されました。

1) 式典

式典では、主催者代表として関東地方整備局長、実務として建設技術情報推進委員会委員長、船橋市長のご臨席も有り、行われ行われました。

関東地方整備局 廣瀬局長の主催者挨拶に続き、実務の方々にご挨拶をいただいた後、建設技術展示館管理運営委員会副委員長を加えてテープカットを行いました。建設技術展示館の一般公開を開始しました。(写真-2~4)



写真-2 主催者挨拶(関東地方整備局長)



第16期 建設技術展示館の展示技術と活動の紹介

国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所

1. はじめに

国土交通省 関東地方整備局では、国民の暮らしを支えている建設技術を関係者に幅広く情報発信するとともに、一般の方々や次世代を担う方々にも建設技術への関心と理解を深めたいと考えて、平成11年11月から関東技術事務所の隣内(千葉県船橋市)に常設の『建設技術展示館』を開設しています(写真-1)。



写真-1 建設技術展示館

までに27万人以上の方々に来館いただいている。開設以降、国土交通行政を取り巻く環境の変化や建設技術の進歩等、時代の変化に応じて展示内容の検討や見直しを重ねて、現在、『第16期 建設技術展示館』として令和5年5月31日にリニューアルオープンし、新たなテーマで技術展示を行っている(展示期間は2年間とし、令和7年5月月末まで予定)。

2. 第16期 建設技術展示館

(1) 概要
第16期の建設技術展示館では、国土交通行政における技術取組の基本方針と取組を定めた『第5期国土交通技術基本方針』において示されている「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命



写真-2 展示館内の状況

建設マネジメント技術 2024年4月号 1

第16期 建設技術展示館
開催予定 SCHEDULE
CPD/CPDS 認定予定
第7回 出展技術発表会
令和6年5月23日(水) 会場 国土交通省船橋庁舎 船橋市
第8回 出展技術発表会
令和6年7月4日(木) 会場 関東技術事務所 船橋市
第9回 出展技術発表会
令和6年9月5日(水) 会場 さいたま新都心合同庁舎 さいたま市
第10回 出展技術発表会
令和6年10月3日(木)・4日(金) 会場 関東技術事務所 船橋市

第10回 出展技術発表会
「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術、DX技術、GX技術」の最新技術・取組の発表をとおこないます
TIME SCHEDULE
令和6年 10月3日(木)・4日(金)
10:00~15:30 (受付9:15~) 10:00~15:30 (受付9:15~)

会場
関東技術事務所 船橋技術管理室
〒270-0298 千葉県船橋市船橋1-1-1
会場 船橋市船橋1-1-1 船橋技術管理室
〒270-0298 千葉県船橋市船橋1-1-1

CPD/CPDS 認定予定
申込期間 令和6年9月27日(金) 12:00まで 当日10:00まで
申込方法
展示技術発表プログラムは単位別申込を必要とします。
申込先 国土交通省関東地方整備局 船橋技術管理室
〒270-0298 千葉県船橋市船橋1-1-1
Eメール contact@kantei-hb.jp
TEL 0476-226-6667
FAX 0476-226-6668
HP https://www.kantei-hb.jp

建設技術展示館
TME SCHEDULE
A 展覧:「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」
B 技術:「インフラ分野のDX技術」
C 技術:「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」

日	時間	技術 No.	出展者名	技術名	
10月3日(木)	10:00-10:30	A 20	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	10:30-11:00	A 20	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	11:30-12:00	A 21	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	13:00-13:30	B 17	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	13:30-14:00	A 24	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	14:00-14:30	B 19	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	14:30-15:00	B 20	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	15:00-15:30	A 27	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
	10月4日(金)	11:00-11:30	A 25	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室
		11:30-12:00	B 18	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室
13:00-13:30		C 05	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
13:30-14:00		A 23	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
14:00-14:30		A 26	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
14:30-15:00		B 21	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	
15:00-15:30		A 27	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	国土交通省 関東地方整備局 船橋技術管理室	

機関誌「ぼんぷ」※1

首都圏から行く
個性派
ミュージアム
案内
おとなの好奇心を満たす博物館へ

町田 忍 監修

建設マネジメント技術※2

建設技術展示館
DX化がもたらす建設現場の革新にも触れられる

建設技術展示館
建設技術の最新情報をお届け

首都圏から行く 個性派ミュージアム案内※3

建設技術展示館の概要と第16期の活動内容

・建設技術展示館HP

建設技術展示館HPではトップ画面に展示館紹介動画や出展技術発表会を掲載しているほか、バーチャル空間で展示館内や車両格納庫内を見学できる「バーチャル展示館」を開設し、出展技術や災害対策車両を分かりやすく紹介している。



バーチャル展示館の状況



建設技術展示館紹介



展示技術の紹介事例(技術情報や紹介動画)



建設技術展示館HP(トップ画面)



災害対策車両の紹介(右は紹介動画)

・外部イベントへの出展事例②



展示ブース全景

第72回利根川水系連合・総合水防演習に出展し、対策本部車を2台連結させた内部スペースにおいて、VR体験や3次元データ操作体験を実施。車外のテントスペースでは、Lidar体験やレーザースキャナ展示等により、建設業で使われているDX技術の紹介、建設技術展示館のPRを実施。

【イベント概要】

- 全体来場者：約7,000名
- 日程：令和6年5月18日(土)
- 場所：千葉県香取市佐原地先
- 実施内容：対策本部車(2台連結)の展示、VR体験、3次元データ操作体験、Lidar体験、レーザースキャナ展示、KENKIカード配布など

第72回 利根川水系 連合・総合水防演習

2024年 5月18日(土) 千葉県香取市佐原地先

受付開始 午前8:30~

10:00~11:30 水防訓練 救出・救護訓練

11:30~12:00 講演会

https://www.ktr.mlit.go.jp/tonege/



建設技術展示館の紹介



VR体験



Lidar体験



来場者状況



3次元データ操作体験



来場者状況

5) 夏休み子供体験教室

建設技術や土木、防災等に興味や関心を持ってもらうことを目的に、出展者の協力の下、夏休み時期に小学生を対象にした体験イベントを開催している。

令和6年度は、セメント工作体験やアーチ橋づくり、建設機械の操作体験など多くの体験コーナーを用意し、1日の開催で800名を超える方に参加頂いている(令和6年7月26日開催)。

The flyer features a central graphic with the text '夏休み子供体験教室 2024' and '夏休みの課題解決はあまかぜ!'. It lists various activities such as 'アーチ橋づくり体験', 'セメントでモノづくり', 'ミニバックホウ操作体験', and '蹴りこぎ体験'. It also includes a schedule table for the event on July 26th from 10:00 to 15:00, and contact information for the Kanagawa Technical Office.

イベントチラシ



セメント工作体験



ミニバックホウ操作体験



アーチ橋づくり体験



キックボード&ミニセグウェイ体験



遠隔操縦式バックホウ操作体験